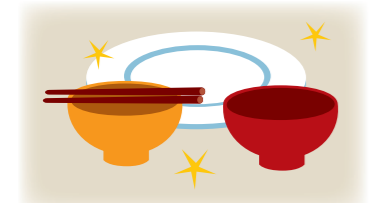


川をよごさないためにできること

川のよごれには2種類あります。水そのもののよごれと川の中や周りにゴミがすてられることによるよごれです。川をよごさないために大切なことは、わたしたちの「小さな心がけ」なのです。毎日の生活のなかでのちょっとした心がけが、川を守ることにつながるのです。

■ こんなことに気をつけているかな？

食べ物は残さず食べる



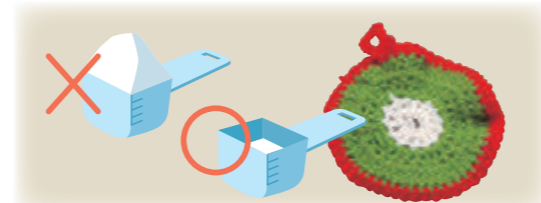
食べ残しをそのまま流さないことで排水のよごれをおさえることができます。

水を節約する



食器の洗いものや、手洗い、歯みがき、シャワーなどのときに水を出したままにしているとムダ使いになってしまいます。

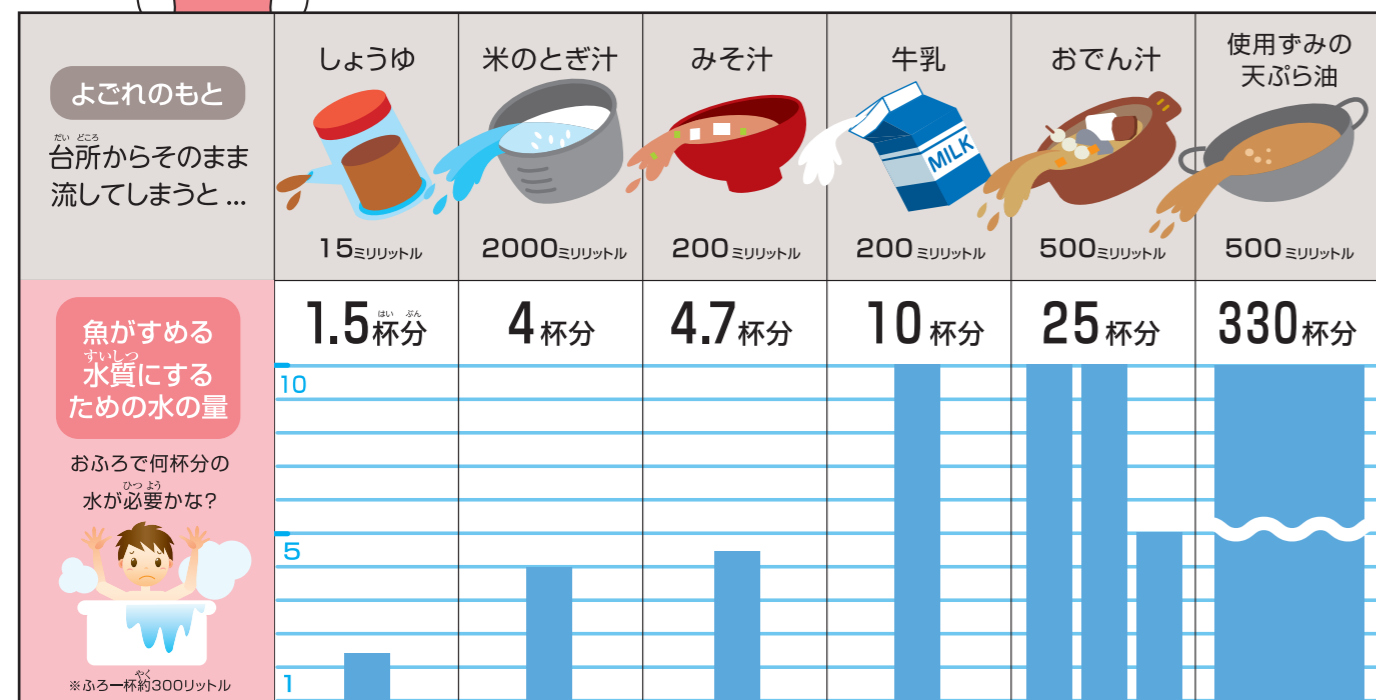
洗剤は必要な分だけ使う



食器洗いや洗たく洗剤は必要以上に使うと洗い流すのにたくさんの水を使ってしまう。アクリルたわしを使うと、洗剤が少なくてもきれいによごれを落とすことができます。



■ よごれた水に魚がすめるようにするためには、どのくらいの水が必要なのだろう？



ことばの意味

みんなで川をきれいにしよう

きれいな川を保つために、国では毎年7月を河川愛護月間、7月7日を「川の日」、8月1日を「水の日」として川や水を大切にしようよびかけています。山形県でも各地の河川や海岸の清そう活動など、毎年たくさんの人々が協力し合いながら行っています。

モモカミ・ゴミバスターズ (戸沢村)



最上川中流部の戸沢村では、「きれいな最上川を取りもどして未来にバトンタッチしよう」と川の周りを清そうしています。

酒田市立亀ヶ崎小学校 (酒田市)



最上川河口に近い酒田市立亀ヶ崎小学校は、課外授業のひとつとして最上川河川公園で川辺のゴミひろいをしています。



美しい山形県の自然をよごさないようにしないといけないね。まずは、川にゴミを捨てないようにしよう。

川の水を調べてみよう

川の水のよごれは、にごっていたりアワが立っていたり、目で見て分かる部分もありますが、目に見えないよごれをくわしく調べる「川の健康診断」をすることもできるのです。水そのものを調査する方法と、川にどのような生きものがすんでいるかを調べる方法があります。水そのものの調査では、水温や①透明度を計り、②パックテストなどの検査器具や薬品を使って性質や成分を検査します。

- ① 透明度：水のごり具合。
- ② パックテスト：小さな容器に薬品が入っていて、その中に水を入れると薬品の色が変わり、その色でどのくらいよごれているか分かる検査。